

平成 26 年 2 月 吉日

関係各位

和歌山大学防災研究教育センター

平成 25 年度 防災のための地球観測衛星データ利用研修 in 和歌山大学 開催のお知らせ

拝啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は当防災研究教育センターの事業に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび『平成 25 年度 防災のための地球観測衛星データ利用研修 in 和歌山大学』を宇宙航空研究開発機構(以降:JAXA)、和歌山大学宇宙教育研究所の共催で開催いたしますので、下記の通りご案内申し上げます。地球観測衛星が防災に多様な方面から活用されていることを学ぶことができます。

なお和歌山大学と JAXA と共同研究協定に関わる活動の一環として、この研修会を実施します。この機会に是非積極的なご参加を頂きますようお願い申し上げます。

敬具

記

主催：和歌山大学防災研究教育センター

共催：宇宙航空研究開発機構防災利用システム室、和歌山大学宇宙教育研究所

1. 開催コース内容と受講要件

① 講習内容

防災ユーザが災害時において衛星データを利用するために、衛星観測の仕組みや観測方法、各災害事例に関する画像判読及び解釈、衛星の緊急観測要求から衛星データから抽出した情報を入手するまでを講義する。

講義においては、航空写真と衛星写真との比較など画像を多用し、数式・専門用語の使用は極力控え、初心者でもわかりやすい内容で行う。

また、防災分野における衛星利用について講義を行う。

② 対象レベル

災害時における衛星利用を初めて学ぼうとされる方。

2. 開催会場・開催日程

会場:和歌山大学 システム工学部 B 棟 B101 号室

和歌山市栄谷 930

3. 日程:2014 年 2 月 14 日(金) 13:30~16:10

4. その他

① 受講料:無料

アンケート調査について

本研修を受講された方全員に、アンケート調査にご協力いただきます。

5. 日程(予定)

	研修項目	
13:30	開講のご挨拶 (和歌山大学防災研究教育センター 此松昌彦 センター長)	
13:30～15:00	研修:防災のための地球観測衛星データ利用入門 災害時において衛星データを利用するために(講義) ・リモートセンシングとは ・衛星がどのように地球をまわっているか ・いつ観測できるか ・衛星の観測機器はどのように地表を観測するか ・観測対象によって適した観測方法とは、等 災害時における観測実現性・利用可能性 ・発災～適する衛星の選択～JAXA への観測要求～衛星 観測～「だいち防災 WEB」からの情報入手～利用まで (90分) ・国際災害チャーター等の発動を想定し、各センサの特 徴を踏まえ、【何が(どの地球観測衛星データ)】、【い つ】、【どのような形で】【何に】利用可能か ・緊急衛星観測の実施について ・緊急衛星観測結果から得られる情報と入手方法につい て ・利用方法 (RESTEC 古田竜一副主任研究員)	
15:00～15:10	休憩	(10分)
15:10～15:25	防災分野における衛星利用について (JAXA 防災利用システム室 麻生主幹開発員)	(15分)
15:25～15:55	S&Fを使った新しい防災ネットワーク (和歌山大学宇宙教育研究所 秋山演亮 所長)	
15:55～16:10	質疑・討議・アンケート等	
16:10	閉講のご挨拶(和歌山大学)	

※ 本日程は変更の可能性があります。

以上